

平成21年度

教育委員会の事務の管理及び
執行状況に係る点検・評価報告書

野田村教育委員会

—目 次—

はじめに	1
「野田の教育」における主な取り組みと点検評価	2
1 野田村学校教育行政の実施状況	3
4月の事業報告	5
5月の事業報告	7
6月の事業報告	8
7月の事業報告	9
8月の事業報告	11
9月の事業報告	12
10月の事業報告	13
11月の事業報告	13
12月の事業報告	15
1月の事業報告	16
2月の事業報告	17
3月の事業報告	19
2 生涯学習文化事業の実施状況	21
(1) 生涯学習社会の形成	23
① 生涯学習推進体制の充実	23
② 生涯学習の普及奨励	23
(2) 魅力ある生涯学習の推進	24
① 家庭教育の支援	24
② 生涯各時期における学習活動の支援	25
③ 生涯学習文化指導体制の充実	29
(3) 個性ある芸術文化の創造	31
① 芸術文化活動の振興と環境整備	31
② 文化財の保護	32
3 野田村生涯スポーツ行政の実施状況	33
(1) 生涯スポーツ推進体制の整備・充実	35
① 各種会議の開催	35
② 各種会議等への参加	35

③	広報活動の充実	36
(2)	スポーツ・レクリエーション指導者の養成と活用促進	36
①	体育指導員研修・会議	36
(3)	スポーツ・レクリエーション実践活動の促進	37
①	野田村民体育大会	37
②	各種スポーツ・レクリエーション大会	38
③	体育協会・スポーツ少年団の援助育成	39
(4)	社会体育施設の整備と活用促進	40

はじめに

野田村では、毎年度「野田の教育」を作成・刊行し、当該年度の方針と計画を定めています。

この報告書は、「野田の教育」で定めた計画等がどれだけ達成できたかという視点で、教育委員会の平成21年度の事務事業の実績を評価したものであり、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条に定める点検・評価結果の報告書となるものです。

報告書の構成

この報告書は、次の2つの事項で構成しています。

- ① 「野田の教育」における主な取り組みと点検評価に関するもの
- ② 教育委員会の会議及び主な活動状況を取りまとめたもの

「野田の教育」における主な取り組みと点検評価

項目	担当	評価
○ 野田村学校教育行政の方針と計画		
1 小中一貫教育の推進	学 校 教 育 班	総合評価 ○
(1) 学力向上対策の確立	学 校 教 育 班	◎
(2) 生徒指導の充実	学 校 教 育 班	○
(3) 教職員の資質向上	学 校 教 育 班	○
(4) 国際理解関係事業の充実	学 校 教 育 班	◎
2 野田村学力向上対策委員会	学 校 教 育 班	◎
3 野田村小中学校教務主任研修会	学 校 教 育 班	○
4 野田村小中学校研究主任研修会	学 校 教 育 班	○
5 野田村小中学校一貫教育推進会議	学 校 教 育 班	◎
6 野田村小中一貫教育推進研修会	学 校 教 育 班	○
7 野田村転入職員研修会	学 校 教 育 班	◎
8 野田村先進校等視察研修	学 校 教 育 班	○
9 野田村小中高生徒指導連絡協議会	学 校 教 育 班	○
10 野田村小中学校校長会議	学 校 教 育 班	◎
11 野田村就学指導委員会	学 校 教 育 班	○
12 村内教育相談	学 校 教 育 班	△
○ 生涯学習文化事業の方針、施策の基本方向及び事業計画		
1 生涯学習社会の形成	生 涯 学 習 文 化 班	総合評価 ○
(1) 生涯学習推進体制の充実	生 涯 学 習 文 化 班	○
(2) 生涯学習の普及奨励	生 涯 学 習 文 化 班	◎
2 魅力ある生涯学習の推進	生 涯 学 習 文 化 班	総合評価 ○
(1) 家庭教育の支援	生 涯 学 習 文 化 班	○
(2) 生涯各時期における学習活動の支援	生 涯 学 習 文 化 班	◎
(3) 生涯学習文化指導体制の充実	生 涯 学 習 文 化 班	○
3 個性ある伝統文化の創造	生 涯 学 習 文 化 班	総合評価 ○
(1) 芸術文化活動の振興と環境整備	生 涯 学 習 文 化 班	○
(2) 文化財の保護	生 涯 学 習 文 化 班	○
○ 野田村生涯スポーツ行政の方針		
1 生涯スポーツ推進体制の整備・充実	生 涯 ス ポ ー ツ 班	総合評価 ○
(1) 各種会議の開催	生 涯 ス ポ ー ツ 班	○
(2) 各種会議等への参加	生 涯 ス ポ ー ツ 班	○
(3) 広報活動の充実	生 涯 ス ポ ー ツ 班	○
2 スポーツ・レクリエーション指導者の養成と活動促進	生 涯 ス ポ ー ツ 班	総合評価 △
(1) 体育指導委員研修・会議	生 涯 ス ポ ー ツ 班	○
(2) スポーツリーダー・ネームリスト	生 涯 ス ポ ー ツ 班	△
3 スポーツ・レクリエーション実践活動の促進	生 涯 ス ポ ー ツ 班	総合評価 ○
(1) 野田村民体育大会	生 涯 ス ポ ー ツ 班	◎
(2) 各種スポーツ・レクリエーション大会	生 涯 ス ポ ー ツ 班	○
(3) 体育協会・スポーツ少年団の援助育成	生 涯 ス ポ ー ツ 班	○
4 社会体育施設の整備と活用促進	生 涯 ス ポ ー ツ 班	総合評価 ○

※評価・・・◎:(達成)

優れた取り組みや状況等がみられ、課題はほとんどなく、順調に目標が達成された。

○:(概ね達成)

良い取り組みや状況等がみられ、若干の課題はあるが、概ね順調に目標が達成された。

△:(やや達成が困難)

課題は少なからずあり、目標達成がやや順調でない、又は、一定の成果があったが新たな課題が生じた。

×:(達成が困難)

課題が多く、まだ改善に向けた取り組みに着手できていないか、着手してもほとんど成果が上がらないなど目標がほとんど達成できなかった。

1 野田村学校教育行政の実施状況

平成 21 年度野田村学校教育・生涯学習事業の成果と課題

○4月の事業報告

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
野田村転入職員研修会 (4月1日)	<ul style="list-style-type: none"> ○教育委員長 あいさつ ○辞令交付 ○サービスの宣誓 ○教育長 激励のことば ○職員紹介 ○村長講話 ○村内めぐり 	○新任の先生方へ野田村についての理解を深められた。
小中高生徒指導連絡協議会① (4月10日)	<ul style="list-style-type: none"> ○本年度の事業計画の提案と確認 ○生徒指導年間指導計画の確認交流(小中高より) ○小中高における共通実践課題の設定について協議し「あいさつ運動」について取り組むことの確認 ○不応児児童生徒の実態と支援の方向性の確認 ○地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業について 	○新年度の生徒指導の充実に向けて、確認ができた。
学力向上対策委員会①(第1回小中一貫教育推進会議・教務主任研修会①・研究主任研修会①) (4月22日)	<p>【学力向上対策委員会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○役員選出、運営の基本構想及び今後の日程確認 ○各校の学力向上対策の具体的構想について ○各校の教務運営計画について ○各校の研究計画について <p>【小中一貫教育推進会議】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平成21年度計画について ○小中一貫教育推進研修会のねらいの確認、内容・日程検討 <ul style="list-style-type: none"> ◆教科別分科会における研究テーマは「思考力、判断力、表現力」をキーワードにしながら設定。 ○小中共同実践、合同実践について ○各校で取り組みたいことについて ○ALTの保育所、小学校の訪問日の確認 	<ul style="list-style-type: none"> ○新年度の学校運営に関わる情報交換、事業内容の確認ができた。 ●各研修会を兼ねて行ったが、内容で重複する部分があるので、整理が必要である。
全国学力・学習状況調査 (4月21日)	○滞りなく実施。(当日の欠席者 小1名、中0名)	
小中学校校長会議① (4月28日)	<ul style="list-style-type: none"> ○21年度事業計画についての確認(総務、学校教育、生涯学習文化、生涯スポーツ各班より) ○4月、5月の行事計画について確認 ○各校より、学校運営方針についての説明 ○その他 	○新年度の学校運営について協議が深められた。

<p>第1回小中一貫 教育推進研修会 (野田中学校) (4月30日)</p>	<p>○全体会 ◆職員紹介(教育委員会事務局、小学校、中学校) ◆本年度の方針確認</p> <p>○部会 ◆部長、部会長の選出 ◆研究計画の立案</p> <p>○部会協議の内容 ◆部会① 国語・算数・英語 部長：伊藤直登教諭 副部長：長根美由紀教諭 視点：自分の考えを持ち、相手に理解できるように 伝える場面を設けた授業 授業：小学校(工藤映子教諭 算数) 中学校(佐藤勝彦教諭 数学)</p> <p>◆部会② 理科・社会・生活・総合 部長：星川明宏副校長 副部長：西田牧恵教諭 視点：自分の考えを持ち、学び合いを通して深める 指導 授業：小学校(高橋和幸教諭 社会) 中学校(西田牧恵教諭 社会)</p> <p>◆部会③ 音楽・美術・図工・保体・技家 部長：大平優副校長 副部長：松川秀利教諭 視点：児童・生徒の思考を促す教材提示の工夫 授業：小学校(高橋泉教諭 特別活動) 中学校(小豆島生吾 技術)</p>	<p>○新年度の研究推進体制を全体で確認するとともに、組織の確立、研究主題や計画について周知が図られた。</p>
<p>中1連絡会 (野田中学校) (4月30日)</p>	<p>○参加者 小学校：星川副校長、小林教諭(前担任)、千葉養護教諭 中学校：大平副校長、西田教諭(1学年主任)、石川教諭(A組担任)、滝浦教諭(B組担任)、夏井養護教諭</p> <p>○内 容 ①中学校での生活の様子について ②小学校での生活の様子について ③体調管理・生活習慣の確立について ④授業の進め方について ⑤個別の事案について</p>	<p>○中1ギャップ解消に向けて、小中の連携を図ることができた。</p>

○5月の事業計画

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
小中学校校長会議② (5月27日)	○5月の事業報告、6月の事業計画 ○5月の学校経営状況について(学校運営状況、教職員の状況、児童生徒の状況)、また、6月の学校経営の重点について、小中校長から説明をいただいた。	○各校の運営状況の共有が図られた。

○6月の事業計画

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
第1回野田村社会科副読本編集委員会 (6月1日)	<ul style="list-style-type: none"> ○編集方針について ○基本構想について ○編集の手順、日程について ○副読本の内容、及び単元構成について ○執筆・編集の分担について ○第2回編集委員会の内容について 	○新しい社会科副読本の編集計画について確認できた。
平成21年度初任者研修・第1回野田村教育委員会研修(一般研修) (6月2日)	<ul style="list-style-type: none"> ○講話1 「新任教員に期待すること」(大崎教育長) ○講話2 「野田村における教育課題」(南指導主事) ○施設見学 <ul style="list-style-type: none"> ①マリンローズパーク野田玉川 ②野田焼き体験活動 ③和佐羅比山の山頂から野田村を一望 ◆講話に臨む姿勢も真面目であり、野田村立学校教員としての資質の向上を図ろうとする意識が研修態度に現れていた。 ◆施設見学においても、地域に根ざした教材開発の視点に立ち、地域の産業、人々の暮らし、地域人材、歴史や文化等について理解を深めていた。 	○野田の教育について、また地理的な理解を深め、初任者の資質向上が図られた。
小中学校校長会議② (6月25日)	<ul style="list-style-type: none"> ○6月の事業報告、7月の事業計画 ○6月の学校経営状況について(学校運営状況、教職員の状況、児童生徒の状況)、また7月の学校経営の重点について、小中校長から説明をいただいた。 	○各校の運営状況の共有が図られた。

○7月の事業計画

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
<p>第2回小中一貫教育推進研修会 (野田小) (7月1日)</p>	<p>○授業参観 1年生算数 授業者 工藤 映子 教諭 助言者 山下 秋雄 主任指 導主事 2年生学活 授業者 高橋 泉 教諭 助言者 三浦 建成 指導主事兼保 健体育主事 6年生社会 授業者 高橋 和幸 教諭 助言者 向折戸 博昭 指導主 事 ○研究協議 三つの部会に分かれて研究協議を行い、学習指導にお ける小中一貫教育の在り方について理解を深めた。 ○主な感想は以下のとおり ・①教材教具の工夫、②子どもをよく見て話す、③自然 な流れで子どもが考える、ことの大切さを実感しまし た。子どもの実態を把握し、子ども自身が自分のこと として考える授業を目指していきたいと思います。中 学校の先生方との意見交流もとても参考になりました。 ・日常の授業の中でも自分の考えを「もつ、書く、やっ てみる、話す。確かめる」等の場面を設け、大事にし ていきたい。 ・大切なことは表現することだと感じました。方法は様々 あってよいわけで、自分のやりやすい方法 でまず挑 戦する。そして友達と交流する中で他の方法を学ぶ…。 小学校1年生段階からこういう学び方をしていくこと で、中学校の学習にもつながるのだなあと思いました。 今日はその基本の授業でした。とても丁寧で勉強にな りました。 ・資料を読み取って発言している姿を見て、中学校での 指導の不十分さを痛感している。小学校の細やかな指 導法を参考に改善を図りたい。せっかくの小学校の指 導を生かせるように授業を研究し「まっとうな授業」 (価値ある内容・活動)になるように努力したい。 ・両校の全学級公開としたい。子どもの様子の交流とい う意味からは、1学級の授業について研究するよりも、 たくさんの授業の様子を参観するべきだと思う。その 後、授業内容や子どもの様子を小 中学校職員で交流 できればいいのではないかな？</p>	<p>○学習指導におけ る小中連携の在 り方について共 通理解が図られ た。 ○講師の助言によ り、新指導要領の 趣旨に基づいた 指導の在り方に ついて協議が深 まった。 ○研修会の成果が 参会者の感想に 現れていた。 ●授業研修会の在 り方については、 検討を求める声 があった。</p>
<p>初任者研修・第2 回野田村教育委 員会研修(3市町 村合同実施) 会場：長内小 (7月6日)</p>	<p>○授業参観 4年生道徳 授業者 加藤 恵美子 教諭(長内小) 助言者 南 隆人 指導主事 ○研究協議</p>	<p>○道徳の授業の資 料の扱い方、発問 の仕方等、具体 的な指導の在り 方について協議 が深められた。</p>

<p>第2回野田村小中高生徒指導連絡協議会 会場：野田中 (7月7日)</p>	<p>○授業参観 ・6時間目の授業を巡回して参観 ○1学期の「積極的生徒指導」実践事例について ○小中高等学校共通課題（あいさつ運動）取組状況について ○学校不適応児童生徒の実態と支援の方向性について ○夏季休業中の生徒指導について ○その他</p>	<p>○夏季休業中の生徒指導について、校種間及び関係機関との連携が図られた。</p>
<p>第2回野田村学力向上対策委員会 (7月10日)</p>	<p>○1学期の学力向上のための授業改善例について ・家庭学習の指導の状況について ・部活動、スポーツ少年団活動等の在り方について ○校内研究の進捗状況について ・小中の研究課題の共有について ・子どもの成長につながる校内研究の在り方について ○小中一貫教育推進に係る実践の交流 ○平成21年度学力検査（CRT）の実施計画について ・経年比較の視点に立った検査結果の活用について</p>	<p>○家庭学習の在り方や日常の学習指導の在り方について、協議が深まった。</p>
<p>小中学校校長会議④ (7月28日)</p>	<p>○7月の事業報告、8月の事業計画 ○7月の学校経営状況について(学校運営状況、教職員の状況、児童生徒の状況)、また8月の学校経営の重点について、小中校長から説明をいただいた。</p>	<p>○各校の運営状況の共有が図られた。</p>

○8月の事業報告

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
野田村初任者研修③(課題研修)(8月3日)	<p>○説明 「学習指導あるいは生徒指導上の工夫・改善に係る実践課題」 説明者 野田小学校 教諭 小山 佳奈子 説明者 野田中学校 教諭 滝浦 千加良</p> <p>○意見交換 「実践課題に基づく研究の進め方について」 司会 指導主事 南 隆 人</p> <p>○演習 「課題研修に係る研究計画の立案」 指導 指導主事 南 隆 人</p>	○初任者の課題研究について、具体的な見通しを持たせることができた。
第2回野田村社会科副読本編集委員会(8月5日)	<p>○説明 ・第1回編集委員会での確認事項について ・編集内容に係る教育委員会としての考えについて</p> <p>○協議 ・第1次原稿及び資料の検討 ・編集内容及び今後の日程の確認 ・その他</p>	○具体的な編集作業を進めることができた。
第1回野田村就学指導委員会(8月21日)	<p>○役員互選について 委員長 沢里 優子 野田小学校長 副委員長 三船 俊光 野田中学校長</p> <p>○協議 ・平成21年度事業計画について ・検査等を必要とする児童生徒について</p> <p>○その他 ・ことばの教室の設置について</p> <p>○参加者 沢里 優子(野田小学校長) 松川 秀利(野田小学校特別支援教育担当教諭) 三船 俊光(野田中学校長) 野沢 智文(野田中学校特別支援教育担当教諭) 佐藤 弘美(岩手県立久慈拓陽支援学校教諭) 中村 智子(野田村保育所長) 中村 佳津美(野田村住民福祉課保健師) 大崎 英雄(野田村教育委員会教育長) 米田 收(野田村教育委員会教育次長) 泉澤 弘(野田村教育委員会総括主査) 南 隆人(野田村教育委員会指導主事)</p>	○就学指導委員会の活動内容について、共通理解が図られた。
小中学校校長会議⑤(8月27日)	<p>○8月の事業報告、9月の事業計画</p> <p>○8月の学校経営状況について(学校運営状況、教職員の状況、児童生徒の状況)、また9月の学校経営の重点について、小中校長から説明をいただいた。</p>	○各校の運営状況の共有が図られた。

○9月の事業報告

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
第3回野田村社会科副読本編集委員会 (9月2日)	○説明 ・第2回編集委員会での確認事項について ○協議 ・第一次原稿及び資料等の検討 ・編集内容及び今後の日程の確認 ・その他	○内容について、具体的に協議できた。
小中学校校長会議⑥ (9月28日)	○9月の事業報告, 10月の事業計画 ○9月の学校経営状況について(学校運営状況, 教職員の状況, 児童 生徒の状況), また10月の学校経営の重点について小中校長から説明をいただいた。	○各校の運営状況の共有が図られた。
教職員レク (9月28日)	○雨天のため内容をパークゴルフからソフトバレーボールに変更して実施した。	○小・中・教育委員会の職員相互の交流・親睦が深められた。

○10月の事業報告

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
情報スキルアップ教室 (10月1日)	○野田小学校の授業参観日に合わせて、6学年児童及びその保護者を対象として、教育センターより講師を招聘して開催。	○情報モラルへの意識啓発となった。
岩手県学習定着度状況調査 (10月7日)	○小学校：4年生(国・算)，5年生(国・算)及びアンケート(3年生～6年生)を実施 ○中学校：1年生(国・数・英)，2年生(国，社，数，理，英)及びアンケート(1年生～3年生)を実施	
小学校教育相談 (10月13日)	○特別支援学級及び普通学級に在席する障がいのある児童の指導について	○学校の実情に応じた特別支援教育について、理解を深められた。
中学校教育相談 (10月16日)	○特別支援学級に在席する障がいのある児童の指導について ○普通学級に在席する障がいのある児童の個別検査の実施	
第4回野田村小学校社会科副読本編集委員会 (10月23日)	○説明 第3回編集委員会での確認事項について ○協議 ①第1次原稿及び資料等の最終検討 ②編集内容，及び今後の日程の確認	○内容について、具体的に協議できた。
小中学校校長会議⑦ (10月26日)	○10月の事業報告，11月の事業計画 ○10月の学校経営状況について(学校運営状況，教職員の状況，児童生徒の状況)，また11月の学校経営の重点について小中校長から説明をいただいた。	○学習発表会等の成果が報告された。

○11月の事業報告

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
第3回野田村小中一貫教育推進研修会(会場：野田中学校) (11月5日)	○授業参観 数学：佐藤 勝彦 教諭(比例と反比例ー比例する量ー) 講師：久慈教育事務所指導主事 柏木 廣喜 社会：西田 牧恵 教諭(日本と世界⑤ー東アジアの大戦争ー) 講師：久慈教育事務所指導主事 齊藤 雅彦 技術：小豆嶋 生吾 教諭(道具の使い方) 講師：洋野町立中野中学校長 名須川 淳精 ○研究協議 3つの部会に分かれて研究協議を行い，学習指導における小中一貫教育の在り方について理解を深めた。 ○主な感想 ・比例の学習は，小学校の学習を受けて中学校へとつながっていくので，しっかりと小学校段階で定着させておく必要があると感じた。そのためにも小・中で，どのような学習をしているのか確かめなければならない。 ・比例の指導に関わって，小学校と中学校の指導の違いなどを交流できたのは，小中一貫研修ならではの良い点だった。小学校の先生方の指導のていねいさに学んだりできる点も良いと感じた。 ・どの教科でも「知りたい」「やってみたい」という興味	○中学校における学習指導の具体について学ぶ機会となった。 ○小中連携の授業について、協議が深まった。

	<p>を喚起することは、理解を深めるために重要であり、そのための教材の工夫が教師には求められている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの教科でも小中一貫して基礎・基本を大切にしていけることが重要であり、小中でそれを交流できることは良いことだ。野田の子どもたちが社会の一員として誇りをもって暮らしていけるよう育てていきたい。 	
<p>第2回野田村就学指導委員会 (11月11日)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○教育措置の判定について ○ことばの検査結果について ○就学時健康診断の結果について ○その他 ○参加者 <p>沢里 優子 (野田小学校長) 松川 秀利 (野田小学校特別支援教育担当教諭) 三船 俊光 (野田中学校長) 野沢 智文 (野田中学校特別支援教育担当教諭) 佐藤 弘美 (岩手県立久慈拓陽支援学校教諭) 中村 智子 (野田村保育所長) 中村 佳津美 (野田村住民福祉課保健師) 大崎 英雄 (野田村教育委員会教育長) 米田 收 (野田村教育委員会教育次長) 泉澤 弘 (野田村教育委員会総括主査) 南 隆人 (野田村教育委員会指導主事)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○対象児童生徒の指導の状況について、協議が深められた。 ●個別の指導計画等、支援を必要とする児童生徒への指導の在り方を明らかにする必要がある。
<p>小中学校校長会議⑧ (11月26日)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○11月の事業報告、12月の事業計画 ○11月の学校経営状況について(学校運営状況、教職員の状況、児童生徒の状況)、また11月の学校経営の重点について小中校長から説明をいただいた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒指導の問題について共通理解を図ることができた。
<p>先進校視察研修(小学校) (11月26日～27日)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○青木光佳教諭が、荒川区立大門小学校、文京区立明化小学校の学校公開に参加し、研修を深めた。 	

○12月の事業報告

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
食育出前教室 (12月9日)	<ul style="list-style-type: none"> ○シイタケ栽培について振興局林務部の松坂竹志氏、生産者の小野紀行氏から、それぞれ説明いただいた。 ○子どもからの質問に対する応答 ○栄養教諭からの地元シイタケを使った献立の説明 ○シイタケ給食の試食 ○参加者 松坂 竹志 (久慈地方振興局林務部林務課 上席指導員) 小野 紀行 (生産者) 高田 光晴 (野田村産業振興課 主査) 小屋畑 知美 (野田中学校 栄養教諭) 大崎 英雄 (野田村教育委員会 教育長) 南 隆人 (野田村教育委員会 指導主事) 	<ul style="list-style-type: none"> ○食を通して、地域に対する理解が深められた。
第3回学力向上 対策委員会 (12月9日)	<ul style="list-style-type: none"> ○2学期の学力向上のための授業改善例について ○校内研究の進捗状況 ○平成21年度学力検査(CRT)の結果について ○「野田の教育を考える」(第20集)の編集に係る予定について ○第3回小中一貫教育研修会について 	<ul style="list-style-type: none"> ○学力向上に対する取り組みについて交流し、共通理解を図ることができた。 ●学力検査の活用について、さらに検討する。
第3回小中高生 徒指導連絡協議 会 (12月18日)	<ul style="list-style-type: none"> ○2学期の「積極的生徒指導」実践事例について ○小中高共通実践(あいさつ)の取り組み状況について ○学校不適応児童生徒の実体と方向性について ○冬季休業中の生徒指導について 	<ul style="list-style-type: none"> ○2学期の取り組みについて交流することができた。
小中学校校長会 議⑨ (12月24日)	<ul style="list-style-type: none"> ○12月の事業報告, 1月の事業計画 ○12月の学校経営状況について(学校運営状況, 教職員の状況, 児童生徒の状況), また1月の学校経営の重点について小中校長から説明をいただいた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○各校の運営状況の共有が図られた。
社会科副読本編 集委員会⑤ (12月28日)	<ul style="list-style-type: none"> ○初稿の検討 ○校正方針及び今後の日程の確認 	<ul style="list-style-type: none"> ○完成に向けて検討できた。

○1月の事業報告

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
食育出前教室 (ほうれんそう 給食) (1月26日)	<ul style="list-style-type: none"> ○ほうれん草について、久慈農業改善普及センターの大里達朗氏、生産者の松川利雄氏から、それぞれ説明いただいた。 ○子どもからの質問に対する応答 ○栄養教諭からのほうれん草を使った献立の説明 ○ほうれん草給食の試食 ○参加者 <ul style="list-style-type: none"> 大里 達朗 (久慈農業改善普及センター主任農業普及員) 松川 利雄 (生産者) 大平 利矢 (野田村産業振興課 主査) 小屋畑 知美 (野田中学校 栄養教諭) 大崎 英雄 (野田村教育委員会 教育長) 南 隆人 (野田村教育委員会 指導主事) 	<ul style="list-style-type: none"> ○食を通して、地域に対する理解が深められた。
小中学校長会議 ⑩ (1月27日)	<ul style="list-style-type: none"> ○1月の事業報告, 2月の事業計画 ○1月の学校経営状況について(学校運営状況, 教職員の状況, 児童生徒の状況), また1月の学校経営の重点について小中校長から説明をいただいた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○各校の運営状況の共有が図られた。

○2月の事業報告

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
キャリア教育推進協議会 (2月1日)	<ul style="list-style-type: none"> ○【説明】キャリア教育の推進について ○【実践発表】本校におけるキャリア教育の取り組みについて ○【協議】キャリア教育推進上の課題について ○参加者 <ul style="list-style-type: none"> 中野 富雄 野田村商工会 会長 田中 東一 野田村漁業協同組合代表理事組合長 大沢 良則 野田村森林組合 代表理事組合長 茂石 和夫 新岩手農協 J A新しいわて久慈営農 経済センター南部地区担当課長 澤口 栄一 野田白寿会 理事長 外館 則男 野田村産業振興課 課長 沢里 優子 野田村立野田小学校 校長 三船 俊光 野田村立野田中学校 校長 滝澤 真貴子 野田村立野田小学校 教諭 キャリア教育担当 野沢 智文 野田村立野田中学校 教諭 キャリア教育担当 大崎 英雄 野田村教育委員会 教育長 米田 收 野田村教育委員会 教育次長 南 隆人 野田村教育委員会 指導主事 (キャリア教育推進協議会事務局) 	<ul style="list-style-type: none"> ○キャリア教育について、社会の状況と学校の取組状況について理解を深め、今後のキャリア教育推進の参考とすることができた。
食育出前教室 (わかめ給食) (2月9日)	<ul style="list-style-type: none"> ○ワカメ養殖について振興局水産部の藤本勝彦氏、生産者の橋場敏光氏から、それぞれ説明していただいた。 ○子どもからの質問に対する応答 ○栄養教諭からの地元のワカメを使った献立の説明 ○ワカメ給食の試食 ○参加者 <ul style="list-style-type: none"> 藤本 勝彦 (久慈地方振興局水産部) 橋場 敏光 (生産者) 外館 則男 (野田村産業振興課長) 小屋畑 知美 (野田中学校 栄養教諭) 大崎 英雄 (野田村教育委員会 教育長) 南 隆人 (野田村教育委員会 指導主事) 	<ul style="list-style-type: none"> ○食を通して、地域に対する理解が深められた。
小中学校校長会議⑩ (2月22日)	<ul style="list-style-type: none"> ○2月の事業報告, 3月の事業計画 ○2月の学校経営状況について(学校運営状況, 教職員の状況, 児童生徒の状況), また3月の学校経営の重点について小中校長から説明をいただいた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○各校の運営状況の共有が図られた。
第2回小中一貫教育推進会議 (2月24日)	<ul style="list-style-type: none"> ○「教育課程実施の重点」に関わる成果と課題について ○教育課程の編成上の留意点について ○校内研究実践の成果と課題及び来年度構想について ○野田村立小・中学校教育研究校設置要領について ○教育委員会による研究指定校の依頼について ○平成21年度の小中一貫教育の事業反省について ○平成22年度の小中連携教育の推進について ※CRTの回復措置と次年度への課題については、全国の分析結果の送付が遅れていることから、次年度の第1回小中連携教育推進会議で協議することとした。 	<ul style="list-style-type: none"> ○今年度の成果と課題を踏まえ、次年度の計画を見直し、事業等の整理を進めることができた。

○3月の事業報告

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
第4回小中高生徒指導連絡協議会 (3月5日)	<ul style="list-style-type: none"> ○平成21年度の事業反省について ○共通実践課題に係る成果と課題について ○各校における生徒指導年間反省について ○学校不応児児童生徒の実態と支援の方向性について ○年度末・年度始休業中の生徒指導について ○平成22年度野田村生徒指導連絡協議会事業計画について 	<ul style="list-style-type: none"> ○各校の今年度の生徒指導の取り組みについて交流し、次年度の計画について協議することができた。
小中学校校長会議 ^⑫ (3月25日)	<ul style="list-style-type: none"> ○3月の事業報告、4月の事業計画 ○3月の学校経営状況について(学校運営状況、教職員の状況、児童生徒の状況)、また、4月の学校経営の重点について、小中校長から説明をいただく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○計画に基づき、見通しに立った学校経営が図られた。

2 生涯学習文化事業の実施状況

平成 21 年度野田村学校教育・生涯学習事業の成果と課題

1 生涯学習社会の形成

(1) 生涯学習推進体制の充実

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
野田村生涯学習推進本部	(1) 幹事会議 期日：4月22日 場所：役場第3委員会室 (2) 本部会議 期日：4月28日 場所：役場第1委員会室	○各課等相互の事業調整と、情報の共有化を図ることができ、生涯学習カレンダーを発行し、村民に周知を図った。

(2) 生涯学習の普及奨励

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
野田村生涯学習大会	期日：2月27日 場所：総合センター 内容：(1)各種表彰(受賞者129個人・団体、出席者69個人・団体)読書感想文等コンクール、教育振興会表彰、花いっぱいコンクール (2)実践発表(3個人・団体) ①職場体験活動(小) ②読書感想文(小・中) ③PTA活動(小学校PTA会長) (3)講演演題：生涯学習と地域づくり 講師：藤田 公仁子 氏 来場者：211人(講演110人)	○全体としてはスムーズに大会を進行することが出来た。 ●実践発表において、読書感想文(小学生)を加えたこと、職場体験の予定時間がオーバーしたこと、パソコンの起動に時間を要したことで、講演の開始時刻に大きな遅れが生じた。
生涯学習情報の提供	(1) 広報のだ「生涯学習コーナー」の発行 期日：毎月 (2) 生涯学習文化だより、村のカレンダー、村ホームページによる提供 期日：随時	○事業の成果や参加者の募集などに各媒体を積極的に活用し情報提供に努めた。

2 魅力ある生涯学習の推進

(1) 家庭教育の支援

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
野田村教育振興会	(1) 総会 期 日：6月2日 場 所：総合センター大会議室 出席者：35人（委任状含）	○地区活動の支援策など様々な質問が出され活発な協議が交わされた。
	(2) 教育振興会表彰…70個人・団体 審査会：2月16日 審査員：5人 ① 学芸表彰：13個人団体(小4、中3、高6) ② 善行表彰：0 ③ 健康スポーツ表彰：57個人団体(小5、中16、高28、スポ少8)	○表彰規定等に基づき推薦のあった候補者について審査を実施し、すべて被表彰者に決定した。 ○生涯学習大会において表彰を行った。 ※当日の出席者37個人・団体
	(3) 子供会育成会の活動支援	
野田村校外指導連絡会	(1) 総会 期 日：6月2日 場 所：総合センター大会議室 出席者：37人	○前年度事業報告など、本年度事業計画について協議を行った。
	(2) 事業 ◆「小中高生の夏休みの生活」の配布 ◆小中生の帰宅時間の広報…防災無線(16:30) ◆観光まつり期間中の夜間巡回指導…教員、中P、教委 36人	○夏休み生活の決め事について、村民への周知をはかった。 ○問題行動等の未然防止を図れた。

(2) 生涯各時期における学習活動の支援

ア 青少年の学習活動支援

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
<p>青少年体験学習活動 (悠 YOU チャレンジクラブ)</p>	<p>(1) 安家川の自然を守り隊 ～安家川流域環境保全活動～ ※村産業振興課連携事業 期 日：7月26日(日) 場 所：岩泉町安家 参加者：小学生6人 内 容：サクラマスの稚魚放流、水棲生物観察(森と川の勉強会)、枝打ち 等育樹体験、清掃活動</p>	<p>○森と川と海のつながりや、サクラマスの生態、安家川の環境について、役割や保全の大切さを学んだ。 ●いろいろな活動と重なり、当日になってキャンセルがあるなど参加児童が少なかった。</p>
	<p>(2) GO!GO!キャンプ 期 日：8月7日～8日 場 所：野田村、二戸市、洋野町 内 容：野外活動 参加者：31人</p>	<p>○村内では、村長をはじめとする地域住民を講師にじゃっこすくいを行い、地域とのふれあいの良い機会となった。 ○二戸市や洋野町では、普段体験することのできない貴重な野外活動やマリンスポーツ体験ができた。</p>
	<p>(3) マイ凧を作ろう 期 日：1月13日(水) 場 所：総合センター 参加者：4人(2年生：2人、3年生：1人、5年生：1人) 内 容：凧キットを使用したオリジナル凧の制作及び小正月行事での凧揚げ</p>	<p>○参加者それぞれが個性ある凧を製作することができた。 ○小正月行事では、自分で作った凧をあげて楽しんでいた。また教室参加者以外の子ども達にも凧を貸し出し、多くの子ども達に楽しんでもらうことが出来た。 ●4年生以上で募集したが、参加者が少なく低学年の参加も了とした。</p>
<p>野田キッズセンター</p>	<p>開設回数：64回(5月11日～3月4日) 参加延べ人数：911人 講師延べ人数：253人(実数53人) 内 容：体育館遊び、料理、お茶、お話、踊り、絵手紙、工作など</p>	<p>○低学年児童の放課後の居場所として、定着している。 ○上の学年の児童が下の学年の児童のお世話を自然にできるようになってきた。</p>

岩手希望塾（県事業）	期 日：7月25日～27日 場 所：県南青少年の家 参加者：大和拓矢（野田中2年） 内 容：岩手ゆかりの著名人との対話、参加 団員との交流	○体験活動を通じて交流を深めることができた。
------------	---	------------------------

イ 成人の学習活動支援

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
いきいきライフ	(1) 階上岳登山 期 日：6月10日 場 所：青森県 階上町 参加者：14人 内 容：階上岳登山道入り口～山頂～階上岳西登山口	○好天に恵まれ、全員が完歩できた。 ○昨年度は歩くペースが速かったため、登山の前後にストレッチを行い、体に無理なく登山ができた。
	(2) 布ぞうり編み方教室～タオル・フリースバージョン 期 日：9月15・16日 場 所：生涯学習センター 参加者：13人 講 師：大沢律子 氏 (久慈市)	○2年続けての参加者は理解が深まり、自信をつけて編んでいた。 ○完成作品を鑑賞し、色合いや編み方をお互いに参考にした。
	(3) 山ぶどう染め教室 期 日：10月20日 場 所：総合センター 参加者：9人 講 師：工房やませみ 中田悦子 氏 (久慈市)	○グループごとに協力してすすめることができ、会話もはずんで楽しい雰囲気での交流が深まった。
	(4) 紅葉ウォーキング 期 日：10月28日 場 所：村内 参加者：14人 内 容：下安家～根井～和野平～玉川	○村内でもじっくり散策することがないので、村について理解を深める良い機会になった。
	(5) 絵手紙で年賀状 期 日：12月1日 場 所：生涯学習センター 参加者：8人 講 師：宇部はつ 氏 (北区)	○初めての方でも取り組みやすいような内容で、全員が2枚の絵手紙を仕上げることができた。
第58回野田村成人式	期 日：1月10日 場 所：総合センター 参加者：179人(うち新成人58人) 内 容：式典、記念講話、記念撮影 ※講話 演題 「恩師講話」 講師 鈴木敢治 先生 清野直美 先生 ※打ち合わせ会の開催：8月12日 ※実行委員会の開催：11月13日	○新成人には準備段階から積極的に動いてもらい、スムーズに進行することができた。 ○今年度初めて夏の帰省に合わせて、打ち合わせ会を行ったことで、新成人の意向を反映させた記念行事とすることができた。

(3) 生涯学習文化指導体制の充実
ア 指導体制の充実

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
社会教育委員会議	○第1回目 期 日：H21年10月9日 場 所 総合センター児童室 ○第2回目 期 日：H22年3月26日 場 所 総合センター児童室	

イ 生涯学習文化施設の運営等

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)																																												
生涯学習センター運営事業	○利用状況 21年度の利用状況は615件、7506人で、前年度と比較し59件、916人の増となっている。また、利用件数615のうち、97%が使用料免除での利用である。 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">多目的ホール</th> <th colspan="2">研修作法室</th> <th colspan="2">談話室</th> <th colspan="2">合 計</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>利用者数</th> <th>件数</th> <th>利用者数</th> <th>件数</th> <th>利用者数</th> <th>件数</th> <th>利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>21年度</td> <td>322</td> <td>5,263</td> <td>153</td> <td>1,541</td> <td>140</td> <td>729</td> <td>615</td> <td>7,506</td> </tr> <tr> <td>20年度</td> <td>303</td> <td>5,730</td> <td>156</td> <td>1,753</td> <td>136</td> <td>1,084</td> <td>595</td> <td>8,567</td> </tr> <tr> <td>増減</td> <td>19</td> <td>▲467</td> <td>▲3</td> <td>▲212</td> <td>4</td> <td>▲355</td> <td>20</td> <td>▲1,061</td> </tr> </tbody> </table>		多目的ホール		研修作法室		談話室		合 計		件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数	21年度	322	5,263	153	1,541	140	729	615	7,506	20年度	303	5,730	156	1,753	136	1,084	595	8,567	増減	19	▲467	▲3	▲212	4	▲355	20	▲1,061	
	多目的ホール		研修作法室		談話室		合 計																																							
	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数																																						
21年度	322	5,263	153	1,541	140	729	615	7,506																																						
20年度	303	5,730	156	1,753	136	1,084	595	8,567																																						
増減	19	▲467	▲3	▲212	4	▲355	20	▲1,061																																						
図書館運営事業	開館日数：353日 来館者数：11,333人(前年度12,035人 ▲702人) 貸出冊数：8,312冊(前年度8,589冊 ▲277冊) ◆図書資料の収集 新規購入冊数：547冊(購入金額799,990円) ◆図書館資料コピーサービス(有料) 利用件数：64件 ◆ブックスタート相談会 開催回数：2回(5月13日、9月9日) ◆県立図書館団体借入 ①5月26日 借入冊数 520冊 ②11月26日 借入冊数 510冊 ◆読書感想文等コンクール ※募集期間中 募集期間：9月1日～1月25日 感想文、標語、感想画 応募点数：感想文66点(小35点、中22点、高9点) 標語 28点(中) 感想画 49点(小39点、中10点) 計 143点	○計画的な購入に努めた ○コピーサービスの導入により利用者の利便性の向上を図ることができた。 ○住民福祉課との連携強化により、一定の成果を上げることができた。 ○利用者からの問い合わせも多く、読書推進に一定の効果が見られる。 ○昨年度を上回る応募があり、作品的にも ・感想文(5区分) 入賞29点 ・標語 入賞6点 ・感想画(4区分) 入賞24点																																												

<p>アジア民族造形館運営事業</p>	<p>開館期間：平成 21 年 4 月～12 月 30 日 来館者数：988 人(937 人、+51 人+5.4%) 入館料：169,550 円(238,200 円、▼68,650 円 28.8%) アジアの広場協賛特別料金の設定： 期日：春/5 月 10 日(44 人)、秋/9 月 27 日(73 人) 料金：高校生以上 100 円 (通常 高大生 200 円、一般 300 円)</p>	<p>○広場まつりとの共催で特別料金を実施するなど、案内の工夫で入場者数が伸びた。</p>
<p>部落公民館維持管理補助事業</p>	<p>◆1,042 千円の補助（23 館分） ◆673 千円の改修費補助（横合中央公民館、米田公民館）</p>	

3 個性ある伝統文化の創造

(1) 芸術文化活動の振興と環境整備

ア 芸術文化団体への支援

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
野田村芸術文化協会支援事業	野田村芸術文化協会への助成額 690 千円 うち、加盟団体に対する助成額 384 千円 (19 団体中 14 団体に交付)	○加盟団体の自主的な芸術文化活動に対して助成を行った。

イ 芸術文化に対する意識の高揚

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
第 45 回野田村総合文化祭	公演部門 期 日：10 月 25 日 場 所：村体育館 出 演：13 団体 来場者：496 人	○たくさんの来場者があり、楽しめたとの声が多く寄せられた。 ●新型インフルエンザの影響により、中学校が出演取りやめとなり残念だった。
	展示部門 期 日：10 月 31 日～11 月 1 日 場 所：村体育館ほか 出展者数：45 個人・団体 出展総数：1,573 点 来場者数：2,200 人	○出展作品数が増加傾向にあり、芸術文化に対する関心が高まってきている。
優れた舞台芸術鑑賞事業	◆樹原ゆり朗読会 in NODA (村芸術文化協会主催) 期 日：6 月 30 日 場 所：村体育館 来場者数：620 人 内 容：朗読 『ちいちゃんのかげおくり』 『ハッピーバースデー』他	○プロの女優による読み聞かせは、表現力があり、臨場感が溢れ、感動したという来場者からの声が多く聞かれた。

(2) 文化財の保護

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
指定文化財等の保存・保護	(1) 埋蔵文化財包蔵地等の保護・管理 開発事業に係る埋蔵文化財包蔵地の確認紹介…5件 ① 林道中沢新山線開設事業 ② 携帯無線基地局建設事業 ③ 携帯無線基地局建設事業2件 ④ 下水道拡張事業 発掘届(法94条)進達…1件 野田城遺跡内の野田浄水場解体工事に伴う届出。	○①②とも包蔵地なしと回答 ○③はなし、④は有と回答 ○勧告に基づき工事立会を2回実施した。
民族資料の保存管理	資料室の一般開放 期間：7月28日～8月20日 …小中高生の夏期休業期間 期間：1月5日～1月19日 …小中学生の冬期休業期間	○見学者3人 ○見学者4人

3 野田村生涯スポーツ行政の実施状況

平成 21 年度野田村生涯スポーツ行政の成果と課題

1 生涯スポーツ推進体制の整備、充実

(1) 各種会議の開催

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
野田村スポーツ振興推進員会議	期日：5月28日(木) 場所：総合センター 対象：スポーツ振興推進員13名(全30名) 内容：H21生涯スポーツ事業の概要説明と委嘱状を交付のうえ協力依頼した	○年間計画や開催期日の周知が図られた
体育指導委員会議	期日：6月3日(水) 9月16日(水) 2月24日(水) 場所：総合センター 対象：体育指導委員 6名 内容：体育指導委員活動計画について H21生涯スポーツ行政の方針と重点施策の説明	○平成21年度生涯スポーツ事業の周知と協力依頼することができた。
村民体育大会運営委員会議	期日：9月11日(金) 11月19日(金) 場所：総合センター 参加：9/11 14名、11/19 10名 内容：村民体育大会の反省及び計画について 村民大運動会について	○生涯スポーツ事業に対する貴重な意見等をいただいた。

(2) 各種会議等への参加

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
管内社会体育担当者会議	期日：4月30日(金) 2月26日(金) 場所：久慈合庁 対象：管内市町村社会体育担当者 内容：管内市町村生涯スポーツ事業 教育事務所の管内事業の説明	○生涯スポーツ行政について情報交換の場となった。
平成21年度市町村生涯スポーツ担当者研修会	期日：4月23日(木) 場所：盛岡市アイスアリーナ 対象：担当1名 内容：県生涯スポーツ事業の概要等	
久慈地方体育指導委員協議会総会	期日：6月5日(金) 場所：久慈合庁 対象：体指2名、担当2名 内容：平成21年度総会	
管内体育指導委員及び社体担当者合同視察研修	期日：7月10日(金)～11日(土) 場所：青森県八戸市 対象：体指1名、担当1名 内容：東北地区体育指導委員研修会	
平成21年度岩手県体育指導委員研修会	期日：8月21日(金)～22日(土) 場所：盛岡市 対象：体指1名、担当1名 内容：岩手県体育指導委員研修会	

(3) 広報活動の充実

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
「生涯スポーツだより」 「スポーツ掲示板」の発行	期日：随時 対象：全戸配布 内容：体育施設利用のお知らせ	●事業等に合わせ、必要に応じて発行を心がけたい
広報・村のカレンダー掲載 依頼	各大会開催等のお知らせ 各スポーツ教室のお知らせ等	

2 スポーツ・レクリエーション指導者の養成と活用促進

(1) 体育指導委員研修・会議

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
岩手県体育指導委員協議会 市町村代表幹事会	期日：5月8日(金) 場所：盛岡市 対象：体育指導委員1名 内容：平成21年度総会	○県及び管内体育指導委員の情報交換の場となり、交流親睦が図られた。 ●各種の会議や研修会に思うように参加できていない。
久慈地方体育指導委員協議会 総会	期日：6月5日(金) 場所：久慈合庁 対象：体育指導委員2名 内容：平成21年度総会	
管内体育指導委員及び社体 担当者合同視察研修	期日：7月10日(金)～11日(土) 場所：青森県八戸市 対象：体育指導委員1名 内容：東北地区体育指導委員研修会	○準備から運営まで役割分担し、責任を持ち運営できた
平成21年度岩手県体育指導 委員研修会	期日：8月21日(金)～22日(土) 場所：盛岡市 対象：体育指導委員1名 内容：岩手県体育指導委員研修会	
自主事業 第3回十府ヶ浦オープン大会	期日：11月29日(日) 場所：十府ヶ浦パークゴルフ場 対象：小学生以上 36名 (村外参加者12名 久慈市8, 洋野町1, 普代村3) 内容：大会の開催	
管内体育指導委員及び社会 体育担当者合同実技研修	期日：2月19日(金)～20日(土) 場所：平庭山荘及びスキー場 対象：体育指導委員1名 内容：AED講習及びスキー指導講習	

3 スポーツ・レクリエーション実践活動の促進

(1) 野田村民体育大会

事業名	主旨・主な内容	成果(○)と課題(●)
野田村民体育大会の開催	「第21回8地区対抗野球大会」 期日：6月9日(火)～6月18日(木) 場所：野球場 ※すべてナイター 参加：8チーム	○各協会等の協力を得てスムーズな運営が図られた。
野田村民体育大会の開催	「第23回壮年ソフトボール大会」 期日：7月12日(日) 場所：山村広場 参加：9チーム 約141名	○内容を見直ししながら開催した。(運動会の競技時間等)
野田村民体育大会の開催	「第8回世代間交流グラウンドゴルフ大会」 期日：9月6日(日) 場所：山村広場 参加：11チーム	●運動会以外は球技であるため、誰でも参加できる競技を検討していく。
野田村民体育大会の開催 (つづき)	「第55回野田村民大運動会」 期日：10月4日(日) 場所：山村広場 参加：446名	
	「第6回どこでもテニポン大会」 期日：12月15日(火), 17日(木) 場所：村体育館 参加：13チーム	
	「第3回8地区対抗ソフトバレーボール大会」 期日：1月26日(火)～2月16日(火) 場所：村体育館 参加：30チーム(ブross [※] 10,シルバ [※] 11,ゴ [※] ルト [※] 9)	

(2) 各種スポーツ・レクリエーション大会

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
悠 YOU スポーツクラブ事業	<p>「小学生水泳教室」 期日：7月28日(火)～29日(水) 場所：村民プール 参加：延べ37名</p>	<p>○各種スポーツ教室の開催により技術の普及向上や交流が図られた。</p> <p>●普及してきた競技もあるため、種目及び内容を見直しながら参加者増を図る。</p> <p>●生活習慣病予防や健康志向、子供の体力低下の問題などを考慮し、年代や需要に合わせた種目を検討していく。</p>
	<p>「グラウンドゴルフ教室」 期日：9月2日(水), 3日(木) 場所：山村広場, ライジング・サン・スタジアム外周 参加：延べ61名</p>	
	<p>「マレットゴルフ教室」 期日：10月21日(水)・22日(木) 場所：宇部マレットカントリー 参加：延べ15名</p>	
	<p>「テニポン教室」 期日：12月8日(火)・10日(木) 場所：体育館 参加：延べ23名</p>	
	<p>「スケート・カーリング教室」 期日：1月5日(火)～6(水) 場所：県北青少年の家(二戸市) 参加：25名</p>	
	<p>「スキー・スノーボード教室」 期日：2月13日(土), 20日(土) 場所：奥中山高原スキー場(一戸町) 参加：延べ28名</p>	
その他大会	<p>「第20回村長杯争奪ゲートボール大会」 期日：5月17日(日) 場所：8チーム 参加：村民広場ゲートボール場</p>	<p>○恒例の大会で楽しんでプレーしていた。</p> <p>○ゲートボール協会より会場準備等の協力を得た。</p>
その他大会 (つづき)	<p>「第5回村長杯パークゴルフ大会」 期日：10月18日(日) 場所：十府ヶ浦パークゴルフ場 参加：46名</p>	<p>○高齢者の方を中心に健康維持や楽しんでいただけており、大会として定着してきている。</p>
	<p>「第14回村長杯中学校バレーボール大会」 期日：2月28日(日) 場所：村体育館 参加：9校</p>	<p>○管内競技力の向上に寄与している。</p> <p>○バレー協会より審判の協力を得た。</p>

(3) 体育協会・スポーツ少年団の援助育成

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
<p>体育協会の援助育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運営活動費補助 10 団体 908 千円 ・社会人野球日本選手権岩手県大会運営補助 8 月 1 日(土)～3 日(月) 10 チーム 200 千円 ・第 13 回北リアスバレーボール大会開催補助 11 月 16 日(日) 87 チーム 289 千円 ・柔道スポーツ少年団活動推進事業補助 12 月 6 日(日) 120 名 250 千円 	<p>○団体活動の援助育成が図られた。</p> <p>○大会や体力テストにより少年団員の運動能力の情報を指導者と共有することができた。</p>
<p>スポーツ少年団の援助育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運営活動費補助 6 団体 300 千円 ・第 28 回教育長杯争奪少年野球大会 9 月 20 日(土), 21 日(日) 6 チーム (野田 2, 久慈[宇部]2, 普代 2) ・第 20 回久慈地区少年ふれあい柔道剣道大会 10 月 10 日(土) 313 名(うち野田 33 名) ・スポーツ少年団体力テスト 1 月 23 日(土) 3 団体 34 名 ・久慈地区スポーツ少年団交流大会(綱引き) 2 月 21 日(日) 1 チーム 	<p>●体育協会・スポーツ少年団とも教育委員会で事務を行っており自主的運営に向けて組織の強化が望まれる。</p>

4 社会体育施設の整備と活用促進

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
総合運動公園の効率的活用	(大会招致) ・第36回社会人野球日本選手権大会 8月1日(土)～3日(月) 10チーム ・岩手県野球協会会長旗争奪第8回学童新人大会兼 第7回東北学童軟式野球新人大会岩手県予選 9月12日(土)～13日(日) 29チーム ・北東北大学野球リーグ戦 プレーオフ 9月26日(土) 富士大学 対 八戸大学 (総合運動公園の活用) ・野球場 (5～11月) 利用日数 130日 利用者数 19,499人 ・テニスコート(4～3月) ※11月末現在 利用日数 185日 利用者数 10,408人	○各種大会が招致され積極的な利用が図られている。 ●今後とも利用促進に努め生涯スポーツ活動の定着を図る必要がある。 ○大規模な体育施設の整備を進めることができた。
社会体育施設の整備	・総合運動公園スコアボード改修工事 7,292千円 ・総合運動公園浄化槽修繕 9,450千円 ・体育館屋根漏水箇所修繕 1,107千円 ・体育館舞台中間幕修繕 189千円 ・村民プール大規模改修工事 23,468千円 ・村民プールろ過装置循環ポンプ交換 447千円	●未整備部分に対しては、計画的に対処する必要がある。
社会体育施設の効率的な活用	・村体育館 (4月～3月) ※1月末現在 利用日数 260日 利用者数 19,141人 ・山村広場 (4月～11月) 利用日数 105日 利用者数 7,101人 ・村民プール(6/13～9/13) 利用日数 65日 利用者数 2,605人 ・新山運動広場(4月～11月) 利用日数 12日 利用者数 240人	

【 参考 】

第 2 2 回野田村民体育大会結果

順位	地区名	総得点	種 目 別 得 点					
			テニポン	ソフトバレーボール	野 球	壮年ソフトボール	グラウンドゴルフ	運動会
1	城 内 上	1 1 1	2 1	1 7	5	1 6	1 2	4 0
2	米田南浜	1 0 5	1 7	1 1	2 0	1 4	1 5	2 8
3	新 山	9 5	7	2 1	1 4	1 2	2 1	2 0
4	泉沢中平	8 7	1 1	1 3	1 6	6	1 7	2 4
5	明内横合	7 1	4	1 0	1 2	5	8	3 2
6	玉 川	6 4	1 3	6	5	2 0	4	1 6
7	城 内 中	6 1	1 4	1 4	5	1 0	6	1 2
8	城 内 下	4 3	8	4	5	8	1 0	8

第 2 3 回野田村民体育大会途中経過

順位	地区名	総得点	種 目 別 得 点					
			テニポン	ソフトバレーボール	野 球	壮年ソフトボール	グラウンドゴルフ	運動会
	新 山	2 8	1 5	1 3	5	8		
	城 内 上	4 1	2 0	2 1	1 2	2 0		
	城 内 中	3 2	1 6	1 6	1 6	1 4		
	城 内 下	2 5	1 3	1 2	5	1 6		
	明内横合	1 0	6	4	5	4		
	泉沢中平	2 3	9	1 4	5	8		
	米田南浜	1 5	5	1 0	2 0	1 0		
	玉 川	1 7	1 1	6	1 4	1 2		